

## 町長からのメッセージ

「光陰は百代の過客なり」と申します。

早いもので、あの複合震災より6年9か月たち、平成29年の  
御歳を迎えました。皆様におかれましては今年どんな  
年でしたでしょうか。

今、故郷は淋しい清澄な空気が漂ふ「時」が流れて  
います。

本年町は、一部地域を除き避難解除し壊された地域  
の完全復旧と創生、復興にむけて一歩々前進しております。  
住居環境の整備、公共交通、賢物環境、医療・介護環境、  
防災・防火・防犯体制の生活インフラの整備、認定こども園・  
小中学校の再開、鳥獣害対策、再工業・水素を活用した  
スマートコミュニティの整備、中心市街地再生プロジェクトの実施等々の  
これからの事業を展開しました。

来年は皆様による具体化を提示し、見える形にいたします。

又、帰還困難区域の「復興拠点づくり」の計画に着手し  
事業化をします。尚、拠点対象外の地域については、オーステップ、  
オーステップも考慮し、拠点の点を増やし両面での解除におよび  
邁進してまいります。「戻れない方、戻らぬ方」については、皆様の  
考えを最大限尊重し、従前とおり浪江町民として生活支援を  
続けます。

いづれにしても町を震災前に戻す為には相当のエネルギーと  
時間がかかります。従って、粘り強く創生を目指す  
覚悟をあらためて感じます。

「急せば成る、為さねば成らぬ何事も、

成らざる人の為さぬ所なりけり」……と。

結句に、皆様方にはお健やかなお正月を  
迎られますようお願いいたします。

平成29年12月吉日 町長 馬場 有

